



カラー版はこちらのQRコード  
からご覧いただけます。

9月の水谷公民館

- 2日(水) 子育てサロン親子フレンドパーク  
5日(土) 里山ボランティア  
14日(月) おひとりさまサロン百の会  
16日(水) 子育てサロンステップアップ講座  
毎週水曜日 パソコン相談室

弥生時代には、湿田による稻作が行わるようになりました。柳瀬川の低地には、各所から湧水が注いでおり、稻作を行うには適地だつたと考えられています。弥生時代の水田跡は見つかっていますが、秋には黄金色の稻穂が頭を垂れていたのかもしれません。

今回は、数ある弥生時代の遺跡のうち、針ヶ谷の北通遺跡と南通遺跡を取り上げてみたいと思います。

This map shows the Nakayama-cho area with a grid street pattern. A large black circle highlights a specific area labeled '遺跡の範囲' (Range of ruins). Two circular markers, ① and ②, indicate proposed locations for the Nakayama Community Center. Marker ① is located near the center of the ruins, while marker ② is further west. The map also features several roads, including '北通' (Kōtsū) and '北通西' (Kōtsū-nishi), and various buildings and landmarks.

針ヶ谷保育園の南側は、浦和所沢バイパスあたりまで細長い台地が伸びて細長い台地が伸びていました。その先端部が墓域となつており、方形周溝墓がまとまつて築造されていました。その内の一つである8号方形周溝墓は、墳丘は残つていませんでしたが中央部から南北280cm、東西80cm、深さ10cmの墓穴の底の部分が見つかりました。

墓穴からは、長さ61cmの鉄剣と直径5mm前後のガラス玉31個が出土しました。とともに埋葬された人物の副葬品で、ガラス

A necklace composed of numerous small, translucent blue glass beads. A single, larger, solid dark blue square-shaped bead serves as the focal point, positioned centrally. The necklace is strung on a thin, light-colored cord.

ガラス玉（水子目塚資料館提供）



鐵劍（水子貝塚資料館提供）

長さ順	所在地	遺跡名	全長(cm)
第1位	千葉県市原市	草刈遺跡	67.9
第2位	埼玉県富士見市	北通遺跡	61.7
第3位	東京都北区	御殿前遺跡	56.9
第4位	群馬県邑楽郡	有馬遺跡	54.0

## 関東地方で発見された鉄剣の長さ順

南通遺跡では、針ヶ谷小学校の敷地を中心とする東西、南北各々約200mの範囲に、これまでの発掘調査により弥生時代後期（-1世紀半ばから3世紀半ば頃）にかけての約290軒もの竪穴住居跡と環濠と呼ばれるムラの周りを固む溝跡が発見されています。未発掘の部分をふまえと、500軒近い竪穴住居跡の存在が推定されます。

An aerial photograph showing the construction of a new elementary school. The site is a large, cleared plot of land with several circular foundations laid out. To the left, a multi-lane highway with a bridge is visible. To the right, there are residential houses and agricultural fields. A white arrow points to the building under construction in the center-right of the image.

南通遺跡 航空写真 昭和57年撮影（水子目塚資料館提供）

# 水谷公民館だより

編集水谷公民館だより編集委員会  
発行富士見市立水谷公民館富士見市水谷1-13-6  
TEL 049(251)1129 FAX 049(255)9886 E-mail fkm-mi@coral.ocn.ne.jp

7・8月合併号では、水谷公民館区の縄文時代遺跡を紹介しました。9月号では弥生時代に焦点をあててご紹介したいと思います。

針ヶ谷小学校は、弥生時代の遺跡の上に建っています。そういうえば、針ヶ谷小学校の近くに、弥生時代を思わせる名前がついたマンショングがあるのをご存じですか。

また、柳瀬川をはさんで東武東上線柳瀬川駅から、池袋に向かつた高台には志木市の西原大塚遺跡があります（現在ではマンショーンが建っています）。そこも弥生時代の遺跡で、**鳥型土製品**が発掘されました。

柳瀬川をはさんだ二つの弥生時代の遺跡、なぜか興味をそそられます。さあ、公民館だよりを手に水谷公民館区の弥生時代の遺跡をぶらぶらしましょう。

## 北通遺跡 8号方形周溝墓写真（水子貝塚資料館提供）

玉は首にかけられ、鉄剣は左脇に添えられていた。この鉄剣は、ほぼ完全な形を保つておらず、この時期のものは関東地方で7例が知られています。また、昭和60年に発見された当時は関東地方では最長で、現在でも2番目の長さを誇ります。ある研究者の見解では、この鉄剣は国産品ではなく、朝鮮半島から輸入され、西日本から北陸を経由してこの地にもたらされたそうです。埋葬された人物は、かなりの有力者であつたと考えられます。

どうたわれて います。ま  
た、弥生の名を冠したマ  
ンションも目立ちます。

史うけつぎ  
(針ヶ谷小学校校歌)



針ヶ谷小学校内の復元住居  
※見学の際は、校内には入らず、



およそ200年間の累積の軒数ではありますが、かなり大規模な集落だったことは明らかです。また、弥生人が最初に居を構えたのもこの遺跡です。昭和46年（1971年）に浦和所沢バイパス建設工事に伴う発掘調査で、弥生時代中期（1世紀頃）の5軒の竪穴住居跡が見つかっています。